

高度翻訳知識構築のための言語データベース

佐良木 昌[†]

[†] 明治大学研究・知財戦略機構 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

E-mail: [‡] saraki@st.rim.or.jp

あらまし 翻訳のための日本語換言に関する知識と意識レベルの高度翻訳知識とを広く集成し、これら実践的知見を翻訳文法として体系立て、翻訳技法を定式化する、その試みについて報告する。品詞や態を転換する、翻訳文法的な手法が開発される傾向にあるが、これに加えて「連体節の連用節への換言」などの知見を、翻訳法に取り入れることが可能である。実効ある知識は、優れた翻訳者による翻訳実践や記述英文法や文体研究などの知見中にあるが、これら知識は意識的に取り出さない限り翻訳文法知識としては浮かびあがってこない。だから、高度翻訳知識を集成し体系立てる作業が必須である。意識は翻訳家の秘技であったが、その意識技法を、たとえ一部でも明らかにし定式化することができれば、科学的な翻訳法への道が開け、自然言語処理への応用も期待できる。

キーワード 高度翻訳知識, 翻訳文法, 換言, 翻訳法

Building up the Database of Advanced Translation Knowledge Meiji University

Masashi SARAKI[†]

[†] Organization for the Strategic Coordination of Research and Intellectual Property, Meiji University 1-1 Kanda-Surugadai, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-8301 Japan

[‡] NPO the Association for Language Research

E-mail: [‡] saraki@st.rim.or.jp

Abstract This paper discusses the advanced knowledge of translation method and reports on the compiling of the database.compile the Multi-Language Databases. Multi-Language Databases for Building up The Advanced Knowledge of Translation Method

The translation methodology is constructed from the following the concept: Theory of Semantic Typology(TST) suggests that human cognition to the world is accompanied by an epistemological framework under the influence of a mother tongue, which are inherent in a particular language. A set of meaning patterns is established from a source language, and then mapped to a set of those from a target language through the common concept to both. Translation process is carried out by the following three steps. First, Semantic Typology Patterns(STP) which is used in a given sentence are retrieved from the STP-Knowledge Base which has been prepared beforehand. Second, the STPs are mapped to those of a target language through Logical Category of Semantics(LCS). Finally, linguistic expressions of the target language are generated from the STPs obtained. Linear parts of expressions are separately translated by the conventional method and the results are combined to the non-linear expressions.

Keyword Windows, Word, Technical Report, Template

1. はじめに

2017 年度採択課題「高度翻訳知識に基づく高品質翻訳サービスの研究」の目的は、翻訳のための日本語換言に関する知識と意識レベルの翻訳知識とを広く集成し、これら実践的知見を翻訳文法として体系立て、翻訳技法を定式化することにある。品詞や態を転換する、日本語の用言中心を、英語の名詞中心に変換するといった翻

訳文法的な手法が開発される傾向にあるが、これに加えて「連体節の連用節への換言」[1]などの知見を、翻訳法に取り入れることが可能であると考えている。実効ある知識は、優れた翻訳者による翻訳実践や記述英文法や文体研究などの知見中にあるが、これら知識は意識的に取り出さない限り翻訳文法知識としては浮かびあがってこない。だから、高度翻訳知識を集成し体系立てる作業が

必須である。意識は翻訳家の秘技であったが、その意識技法を、たとえ一部でも明らかにし定式化することができれば、科学的な翻訳法への道が開け、自然言語処理への応用も期待できる。本研究はこのような問題意識を持って行うものである。

翻訳知識を集成することに基づいて、第一に日本語表現の複雑度・慣用度に応じた換言方法の開発、第二に換言を介した英文作成の定式化、もって第三に高品質な言語サービスを実現すること、これらが本研究の主課題である。

2. 高度翻訳知識構築のための言語データベース

2.1. 高度翻訳知識の定義

ここでは、原言語と目標言語との等価変換という観点から、高度翻訳知識の定義について検討する。本稿においては、意味と表現態とを統一した概念として意味類型を用いる[2][3][4]。社会慣習を反映する表現態の翻訳は、妥当性のある社会慣習を対応させているだけであり、表現構造について原言語と目標言語との間で対応をとって翻訳するのではない。「おはよう」を”Good Morning”というごときであるが、「ありがとうございます」は”Thank you”とは意味は同じでも表現構造が異なるが、「感謝いたします」は等価といえる。便宜的に前者を慣用翻訳と呼び後を等価翻訳と言うこととする。両者の理論的検討は別稿に譲る。

語の置き換えや句の品詞構成の変換によって翻訳文を生成することでは、等価翻訳となりえない。例えば、「窒素で反応は低下する。」を、”With nitrogen the reaction declines.”(機械学習型翻訳による英訳例)と訳しても意味をなさない。しかし、「窒素が原因で、反応は低下する。」と言い換える、あるいは補うことで、”Due to nitrogen, the reaction decreases.”という、直訳であるけれども意味が通じる訳文ができる¹。「窒素で」→「窒素が原因で」という換言知識が功を奏するといえる。もっと端的に「窒素が反応を低下させる。」との換言で”Nitrogen reduces the reaction.”という訳文も可能となる。日本語表現の豊さについて洞察すべき処と言える。つまり、機械学習が学び取れない知識、別言すれば既存の対訳データにはない翻訳知識が要る。そのためには、範疇的意味が同じ日英表現を対の形に集めることが必要である(鳥バンクデータを参看されたい[5])。たとえば、「君は文章を書くのがうまい。」「君は文章の達人だ」に対応する英文型は一通りではなく、”You write essays well.”/ “You are a good writer.”/ Your writing is good./ You are a skillful writer. など複数例があることが通例である。どの文型を選ぶかは、文脈依存関連を除いたとしても、動詞中心表現か名詞句中心かといったスタイル、音韻上の問題など多岐にわたる要素がある。それら要素を網羅的に抽出するために、

翻訳知識を分野別に分けておく。

α) 一般知識

1) 文法、2) 語源を含む語彙論、3) 意味論、4) 語用論、5) 文体論・比喩論を含む修辞学知識)、これら一文範囲の言語分析のための知識にとどまらず、

β) 文脈分析のためのテキスト文法、そして、

γ) 翻訳メタ知識として、論理学および認識論、および情報論を挙げることができる。

2.2. 高度翻訳知識のための言語資源

・山岡翻訳訳語辞典

高度翻訳知識の集成ともいうべき翻訳訳語辞典の編纂を進める。本辞典は、翻訳者山岡洋一氏[6]が編纂されたもので、ネット上で公開されており²、検索語(英語/日本語)から訳語データを参照可能に構成されており単語およびフレーズの単位で英日対応を見ることができる。

翻訳訳語辞典とは信頼できる翻訳家が邦訳した本と、日本語で書かれた本の英訳を出典にして、実際に使われた訳語を集めたデータベースです。このデータベースは、通常の英和辞典の不備を補うことを目的としており、以下のような特徴をもっています。通常の英和辞典にない訳語を多数収録しています。通常の英和辞典は、国語辞典や英英辞典と比較すればすぐに分かるように、語や連語の意味(語義)ではなく、訳語を示すことを特徴としていますが、その訳語が適切だとはかぎりません。このデータベースでは、翻訳家が実際に使った訳語を示すことで、通常の英和辞典の不備を補っています。

・活用を重視しています。活用(collocation)とは勝俣銓吉郎の『英和活用大辞典』に使われた言葉であり、語と語の慣習的な結びつきを意味します。たとえば、place という名詞には take という動詞が結びつくといった点であり、この場合、take の訳語と place の訳語を組み合わせれば take place の訳語ができるわけではありません。訳語はすべて文脈に依存するという観点から、活用を重視しています。

・出典を示しています。訳語には原則として出典を明記しています(「詳細表示」でご覧いただけます)。各々の訳語がどのような文脈で使われたかを調べられるようになっています。・・・

翻訳訳語辞典に収められているデータの数は以下のとおりです。

訳語数	約 28 万
見出し語数	約 2 万 6000
出典数	約 260

以上、引用元は、<https://www.dictjuggler.net/yakugo>

本辞典によると、一つの英文に対して多数の単語インデックスが付与されているので、参考表①のように、対訳とともに、対訳文間の単語対応およびフレーズ対応を参照可能に編纂することができる。

・春田カードコーパス

春田氏[7]が半世紀に渡って英文用例をカード(約四万)に採ったものを、一部電子化している。そのいったんはNPO

¹ 読点をはぶくと(「窒素が原因で反応は低下する。」) ”The reaction is reduced due to nitrogen.”の訳文になる(2018/11/20)

² <http://www.honyaku-tsushin.net/>

言語研究アソシエーションのアーカイブ(一部対訳)として語彙篇・用法篇・文型篇[8]が公開されている。

・日本語複単語表現レキシコン JMWEL

「日本語複単語表現レキシコン JMWEL-フレーズベース処理のための新たな言語資源-」[9][10]には、日本語文末表現、いわゆるモダリティも収録されている。「必要性を表す「なければならない」、欲求を表す「たい」、様態を表す「ようだ」のように、発話者の、バラエティに富んだ主観を表す表現が含まれ、かつ「なければならない/ようだった」のような機能語性 MWE を「非命題的意味構造」として捉えるべき表現も収録されている。

2.3. 対訳データベースの編纂方針

ここでは、山岡翻訳訳語辞典の編纂について述べる。本辞典の原本データでは日本語原文とその英訳と、英語原文とその和訳とが収録されている。日英翻訳を、反転させて英日翻訳とする試みはあるが、語族語派の異なる諸言語間においては極めて困難である。両者には翻訳技法上の相違が認められるからである。そこで、日英辞典と英日辞典と分けて編纂する。

山岡翻訳訳語辞典には膨大な英単語インデックスが付与されている。この仕組みを統合すると、**参考表①**のような英日対訳データを編纂できる。

次に山岡辞典データを、英和から和英に反転させ、表現別に再編、付加情報も加えて編纂することで、翻訳用例から翻訳技法ならびに文法・言語学・文体論の知見を導出する。そのためには、こなれた自然な日本語表現の適切な英訳を探索できることが肝要である。したがって、日本語句インデックスから対訳を引くことができることが必須となる。

以下、科研費において遂行中の対訳データベース編纂について報告する。

・品詞別英日辞典の編纂

英語品詞の別に編纂し英和用例辞典のように引くことができる。**参考表②**(紙幅の都合上、簡略版を掲載している)

・フレーズ対応辞典の編纂

多様な日本語表現が英訳される事例を、例えば、一つの形容詞「鋭い」について、多様な表現態が可能であるが、その豊富な事例とその英訳を一覧可能に構成することが出来る(**参考表③・④**)。対訳とともに、対訳文間の単語対応およびフレーズ対応を参照可能に編纂することができる。日本語句見出しを揚げ英語フレーズを直接参照可能に編集した。もう一步編纂を進めデータ構造を工夫することで、高度翻訳知識の抽出容易なデータベースに再編することができる。その実効性について事例を以下に示す。

「日本語複単語表現レキシコン」[9]には、日本語文末表現、いわゆるモダリティも収録されているが、これら文末表現に対応する英語モダリティ表現を同定することは、困難を伴う。発想における言語間差異があり主観の作用に差があるため、同じ文末様相であっても英訳では大きく異なること

がある。そうした事例を収集して日英間の対応をつぶさに調べていく必要がある。そうすることで対応関係の一定の定式が可能になるだろう。

日本の文末は判断辞などの助詞・助動詞(主体的表現)で締めくくることが多いが、これに対応する英語表現が同じく助動詞になるとは必ずしも言えない。本項で紹介した翻訳訳語辞典を編纂した対訳例(英訳のみ)からは、助動詞を伴わない動詞や副詞による主観表現が観察されている。また、<(ちが)い(零辞)>のような主観性の語句に断定の零辞(「違いないよ」)が想定できる文末は、1) **must**(断定)で表される場合のほか、2) **I would doubtless**(推定を副詞で強める)で表されることもある。また 3) 主観性を表す副詞(**probably, definitely, etc.**)と **be** 繫辞の場合、あるいは 4) **I think** も観察されている。文末に掲載した対訳資料(参考表⑤)として、「かもしれない」の翻訳事例を、「山岡翻訳訳語辞典」から採り上げる。連語「かもしれない」(終助詞「か」+「も」+「知る」の未然形+打ち消しの助動詞「ない」という文末の推量表現が、**参考表⑤**に示すように英訳では、(A)法助動詞を伴う場合、(B) **be** 繫辞の場合、(C)法助動詞伴わない場合との三種を観察できる。

今後の課題と考えているものであるが、当該の英語表現がいかなる理由で選ばれたか、あるいは当該の和訳がいかなる理由で選ばれたかについての知見を、対訳へのアノテーションとして附けることにより、適切な英語表現あるいは和訳技法の採用方法を、一定程度に定式化することが望まれる。

2.4. 高度翻訳知識の導出過程(抄)

英日/日英の対訳文の間でフレーズ対応をとり、局所的な表現がどのように対応しているかを見極める。統語構造と語彙構成が分明になることから、翻訳技法の一端が明らかになる。一般式(変数)のパターン[11][12]として対応関係を記述することで、翻訳者固有の翻訳技法について、一般化可能性を検証ができることになる。本稿では文意のレベル、即ち意味類型の問題は別稿にゆずる。

・フレーズ対応のパターン記述[11][13]

変数化するフレーズは、名詞フ・動詞・形容詞・副詞の各フレーズと、複合辞(日)―複合前置詞(英)とする。

<名詞フレーズ>

単独用言の連体形により修飾された名詞の場合、英語側に意味的に対応する部分があるものについて、修飾語と名詞の範囲を名詞フレーズ変数化の対象とする。

一つ以上の格要素を持つ用言によって修飾された名詞の表現は名詞フレーズとはせず、[動詞フレーズ(形容詞フレーズ)十名詞]とする(連体節として扱う)

<動詞フレーズ>

主格(が格、は格)を除く一つ以上の格要素を伴った用言に

ついて、動詞とその配下にある格要素すべての範囲の表現を動詞フレーズ変数化の対象とする。

<形容詞フレーズ>

<副詞フレーズ>

動詞フレーズに準ずる。 名詞フレーズに準ずる。

複合辞(日)―複合前置詞については、別途検討する。

ここで英日対訳のパターン記述の一例を示す。

“But they had stumbled on, and Clara had eventually reverted to her strict self-control, her taut smile, and her insistence that she was bearing up.”

But N₁ V₂(pp) Adv₃, and N₄ Adv₅ VP₆(pp) to NP₇, NP₈, and NP₉ that N₁₀ was VP₁₁(ing).

「だが夫婦はつまずきながらも歩みつけ、やがてクララもいつもの厳しい自己規制と高潔なほほえみを取りもどし、くじけずにやっていくことを強調した。」

だが N₁ は V₂ながらも V₃ つけ、Adv₅ N₄もいつもの NP₇と NP₈を V₆, VP₁₁ ことを V₉.ta.

V₂(pp) Adv₃: V₂ながらも V₃; NP₁₀: No Response

上記英日両パターンを照合することで、いくつかの知見を引き出せる。

1) 動詞 *stumble* の意味(歩いているときに躓く)を解釈してを、和訳では二つの動詞「つまずく」V₂と V₃「歩む」とに分けて翻訳している(「つまずきながらも歩み」)、そして、*stumble* には継続を表す *on* が添えられていることから(V₂(pp) Adv₃)、副詞 Adv₃を位相「つけ」に翻訳二つの動詞を「ながらも」で繋いでいる(V₂ながらも V₃ つけ)。

2) *her insistence that she was bearing up.* という「動詞派生抽象名詞＋関係節」という構造について、訳文では、名詞を動詞に、関係節を、その動詞の補節に変換して、「くじけずにやっていくことを強調した」という訳文を生成していることが明らかになる。

1) および2) がパターン化による高度翻訳知識の導出の具体例である。上記のパターン化を参照しつつ翻訳技法についての知見を発見し、これに対訳データに付与していくアノテーション作業を科研費により予定している。

3. 翻訳知識の構築論理

3.1. 諸言語に普遍的なもの

表現の基盤である現実社会(社会の歴史、社会＝政治制度、日常生活)が異なり、またその社会の歴史に規定された自然認識も異なる。諸民族が使う言語を共軛するものは抽象的にならざるを得ない。たとえば、因果関係の認識とその言語表現という抽象的共軛がなせえない。したがって、それは認識一般の論理的範疇でなければならない。これを一般論とすると、民族言語を前提とする認識構造は、認識の個別的な現実論として究明する必要がある。

自然認識は、諸民族の自然観に規定され様々である。緑なす平野に住む民族と砂漠に住む民族とでは自然観が大きく異なり、多神教と自然との一体とを基調とするものもあるし、一神教と自然と人間との戦いとを基調とするものもある。

自然の具体的存在およびその認識が異なれば、自然と密着した人間生活も習慣も当然に異なる。漁労を主とする民族の言語では、魚に関する語彙が豊富になり、牧畜を主とする民族では、家畜に関する語彙が豊富になる。これらは、自然のどの部分が生活に密着しているか、自然のどこに着目するかによって、自然に対する認識が異なっていることを示している。この自然認識は言語発生以前から営々と蓄積され世代から世代へと受け継がれ、言語表現の直接の基礎となっている。したがって、自然対象の諸範疇は共通項であるが、その認識内容と言語表現とは個別言語に特有である。しかし一方、社会認識や自然認識が共通する、少なくとも文化的な共通基盤を持つ諸民族の間に置いては、抽象的な認識レベルではなく、具体的な認識レベルにおいて共軛項が成立している。言語族的な親近疎遠に関係なく、共軛項が成立する。例えば、漢字文化圏である中国と日本とは同時に仏教文化圏でもあり、この文化圏では自然認識も社会制度も近いものが歴史的には存在した。

言語族も異なり社会制度、文化、宗教も異なる諸民族の諸言語の間における共軛項は、言語一意味論的には存在せず、抽象的な認識レベルでの共軛項のみしか設定できない。しかし、近代以降、西洋科学技術が普遍化し工業化社会が西洋以外にも出現したことで、物質的世界認識という共通地盤が成立した。物質的諸関係は法則として概念的に把握され理論として表現される。物質的諸法則の把握を基礎とした科学的な対象認識が成立する。それゆえに、言語を越えて普遍的となるので、科学的な対象認識を普遍的な媒介項として設定することが可能になる。科学的な対象認識を媒介することで、個別言語の表現同士が直接対応をとることが可能となる。したがって、自然科学の領域では翻訳は完全に可能である。この科学的認識論における諸範疇(因果律など)に対応して個別二言語間での表現の対照を考えることができる。主要な概念と論理構造とが把握できれば、たとえば、英語への翻訳は、日英の認識の違い・表現方法の違いを経験的に積み上げることに絞られてくる。

3.2. 言語における論理範疇

概念は単なる名辞ではなく、「この表象が固執する頑迷な個性と、その反省の外面的なものとを強引に超克して、総体性を全体性に、或いはむしろ定言的な即且向自有におきかえるものこそ、概念なのである。」[14])ので、概念は自然対象を把握するための網の目である。

「思惟の形式はまず人間の言語の中に表出され、また貯えられている。人間が動物と異なる所以が思惟にあるということは、今日ではもう当然のこととせられている。人間の内心に起こるもの、一般に観念となって表れる一切、人間の有する一切の思想には言語が介入する。従ってまた、凡そ人間が言葉にし、言語に表すものはみな、不明瞭な形であれ、他のものと混同した形であれ、カテゴリーを含

んでいる。それほどに論理は人間にとって自然的のもので、むしろ論理は人間固有の本性そのものである。」(ヘーゲル「大論理学」第二版序文)

この論理学の概念こそが、異なる言語の表現形式を、共転する論理範疇ではないだろうか。有田[15]によれば、

「意味類型は具体的言語表現の一段奥にある思考形式のごときものであるが、その性質上各自の母語をもってこれを考え、理解し、また整理することができる。」「もし諸言語に共通のものがあって、それを取り出すのが普遍的な言語理論の仕事であるとするなら、意味類型の考えかたこそ一名称はこれでもよい—その可能性を開く唯一のものであろう、とおもう。自動翻訳機がもし本当に自然言語を翻訳しうようになれば、その原理もおそらくここに求められるに違いない。」『ドイツ語講座Ⅱ』南江堂 54-56

有田ドイツ語文法論においては、論理範疇の体系化の構想では、論理の表現・時間の表現・感情の表現という三大区分が提案されているが、これら三つの論理範疇、「論理」「時間」「感情」は、世界認識の基本契機(論理学)に対応するであろう。

この論理範疇は、たしかに普遍的な契機であるが、抽象的である。意味類型を超言語的な論理範疇と考えることはできないであろう。個別言語には、それぞれ、固有の認識内容と言語表現とがあり、認識と表現との対を意味の類型として捉えるのが、意味類型ということになるであろう(日本語における意味類型と論理範疇との関係について、「5.2.1 日本語固有の文構造は意味類型化して英訳」にて具体例を挙げる)。個別言語それぞれにおいて、「文化が異なれば言語が用いているカテゴリーの内容もひどく違ってくる」「相異なる言語は相異なるカテゴリーの型を析出する」ルリヤ 1974[16]からである。したがって、諸言語を共転する論理範疇とは、認識論(論理学)における概念として捉えなおすことが適当である。この概念と、意味類型における範疇とは、区別されると共に、対応する関係にあるといつてよい。この二つを、理論的に明確に区別し位置づけることによって、ある言語の意味類型と、他の言語の意味類型とを、論理範疇(共通概念)を介して対応関係に置く、こういう翻訳原理を構想することができるようになる。論理範疇(論理学)に対して、意味類型は、個別言語の多様な表現が表す意味を、類型として整理したものと考えることができる。個々の意味は、それを包摂しうる意味類型の下に整理される。したがって、日本語の意味類型があり、英語の意味類型があるということができる。それぞれの言語の意味類型を、共転するのが論理範疇であり、意味類型は、その典型表現で意味—表現の組を構成する。

3.3. 言語の等価変換

日本語の意味類型として整理された意味の体系は、論理範疇を介して、英語の意味類型に変換する。この変換は、

異なる言語間における系から他の系への近似的変換である。近似度は、真理項を介して、異なる系同士を、どれだけ詳細に、どの程度まで写像関係におくか、による。翻訳者の翻訳作業は、意味類型を媒介とする類推作業により、原文の解釈を、他言語での適切な表現を選択していると思われる。この翻訳者の思考過程を、論理的に明確化する必要がある。

α あるもの・ある事柄についての、二言語間で共通している一般的認識がある

β あるもの・ある事柄についての、二言語間で共通していない一般的認識がない

β の場合、原文において表現されたもの・事柄を、これを含むある意味の類型から捉え返し(一般的に解釈し)、その意味類型のなかの典型表現でもって言い換える。この言い換えられた典型表現に対応する、目標言語の意味類型と、その表現、その中から適切な表現を採ることで、翻訳文とする。例えば、「花子は犬の日に帯を締めて、予定日に備えた。」この具体的表現、具体的意味のレベルでは、他言語では表現することができない。そこで、犬の日の帯とは、安産のための風習という意味があり、日本語では「花子は、安産のためのお守りを身につけて出産に備えた。」と言い換え可能である。英国人と共通する認識を前提とするので、安産という一般的意味に還元する必要がある。安産の表現という意味類型のレベルで英語における安産に対応する表象や風習、そして表現を探して適切な選択を行い英語の表現を決める。類型化すると、その意味類型に対応する英語の表現は、幾通りもあり、翻訳者の英国文化の経験度に、その文化に対する価値判断や選好が作用する。

4. 翻訳のための換言

4.1. 換言の論理

日本語の伝統的構文や慣用的表現を論理的表現に換言すれば、伝達すべき情報が文面に明示される。この換言を通して英訳すれば、伝達情報が再現される。このような表現の枠組みの組み替えは、情報構造の変換と視ることができ、従来の翻訳法では、日本語の情報と英訳の情報と間にズレが生じることが多々あるが、換言によって日本語の情報構造を英語とのそれへと構造変換され等価的に翻訳されることが期待される。一例を挙げれば、日本語での、When, Where > What, Who, How が、英語での、Who, How, What > Where, When に構造変換することが期待される。

従来の翻訳手法は言葉の文法的な置換が中心の直訳であったが、日本語の伝統的構文・慣用的表現の論理的表現への換言、これを介して英語への翻訳を見通すことによって、論理的な構成で英語を表現することを展望すべきと考える。

日本語では、連体や連用の表現・接続語・格助詞などが

係り受け関係を示して文の枠組みをなしていると共に多義といった幅の広さを有している。この枠組みを表す語を、論理的な表現に言い換えることで、多義を解消しつつ伝達すべき意味あるいは情報を最適に分節かつ再配列する。この論理構造の換言によって英語表現への見通しを可能にする。

たとえば、「連体節を連用節に換言して英文従属節を用いて翻訳する」[17]というロジックは、英語以外の西洋諸語の翻訳にも通じるロジックである。この論理は、「意識」と云われている翻訳手法を翻訳方法として定式化するためのものである。同時に、連用節への換言は、伝達すべき前件後件の関係情報が文面（例えば、接続の言葉）に明示されることから、連体表現特有の曖昧さを解消することができる。一例を挙げる。「入場券をお持ちでない方は、窓口にて購入してください。」は、連体節を連用節に換言して「入場券をお持ちでないときは、入場券を窓口にて購入してください。」と言い換えれば、伝達すべき意味が表層に表されとる共に英語の表現構造に近くなり英訳への見通しが立ちやすい。さらに、伝達すべき情報が英文において正しく再現される。これは情報等価の翻訳と考えられる。

4.2. 表現構造の相違と日本語の換言

従来の翻訳手法では、日本語の表現構造を、そのままに英文を工夫する傾向が強く日英の表現構造の相違に踏まえた英訳が意識的に追究されているとは言いがたい状況であった。和文の枠に引きずられたまま英訳すると、訳文と原文の意味・意図との間に不整合が生じることに着目すべきと考ええる。また、平易な和文はオノマトペや慣用句など社会の言語習慣を強く映していることから、翻訳にとって躓きの石である。日本語表現の意味を、概念的あるいは説明的につかんだうえで論理的に組み立て直す能力が要る。易しい日本語表現は、そのままでは、英文への翻訳が困難な場合が多い。例えば、いわゆる二重主格構文はコンパクトな表現ではあるが、その論理構成はいくつかに解釈でき真意を伝えるためには、多義を一意に絞り込む転換法が要る。しかし英語的発想に転換する、とはよく言われるが、これは難題である。だが取り組まなければならない課題である。以上のことから、日英表現構造のギャップを埋める方略が必要との認識にたち論理的表現への言い換え方法の研究が必要となる。ここでは研究課題のみ提案する。

- 1) 語レベル: 多義の格助詞から一意の複合辞への換言
- 2) 句レベル: 慣用句・オノマトペの意味的換言
- 3) 単文レベル: 二重主格構文の単一主語型への換言
- 4) 複文レベル1: シテ形「VしてVする」の論理的接続表現への換言
- 5) 複文レベル2: 連体節の連用節への換言
- 6) 複文レベル3: 原因—結果・理由—結論・目的—手段の表現の換言

5. 換言を介した英訳法の研究

5.1. 和語動詞の多義解消

和語動詞の基本文型は、換言態を介して英訳するが、和語動詞の意味と文型とに対応した換言態を工夫する。例えば、和語動詞「もつ」は多義語であり、大まかに言ってもこれくらいはある： 1) 手に取る、2) 所有する、3) 関係にある、4) 備える、5) 抱く、6) 負担・責任などを引き受ける、7) 職務を引き受ける／授業などを担当する、8) 状態を保つ、9) 物事や組織の中心である、換言技法としては、a) 別の和語動詞あるいは漢語動詞に換言するという技法を検討する。b) 「N1 は N2 がある」[2]を、「N1 は N2 を持つ」に換言した方が英訳を導きやすいといった場合もあり、所有と存在についての表現構造が日英で異なる場合について考察を深める [3]。

5.1.1 英訳指向の和語動詞の漢字書き分け

・漢字仮名交じり表記の問題

『日本語語彙大系』の構文体系では[18]、「みる」の表記は、「見る」一つであるが、構文パターンを25に分けて名詞意味属性ともに対訳形式で記述されている。たとえば「30 知覚動作」の記述によって、英訳は see, look, watch へ訳し分けはできる。しかし、「診る」と「看る」との訳し分けは、表記が「見る」であることから困難となっている。

・同訓異字の漢字書き分け

同訓異字とは「意味を異にするいくつかの漢字に同一の訓を充てる」[19]ことである。漢語の「会」、「合」、「遭」に対して、和語による訳は「あう」の一語のみである。表1に示すように、「漢字制限のなかで「アウ」については、この外にも、「逢う」「遇う」などが用いられていたが、これら数多くの異字のうち、さして使い分ける必要のなかったものもあるが、多くは微妙に異なる意味合いでいくつかの漢字に書き分けられていたものを、一字または少数の漢字で代表させることにしたのであるから、それらの代表選手は本来の字義よりも広範な意味を担うことになった。」[ibid.]表2に例示したように、漢字制限のために、同訓和語の意味別の書き分けができないことから、日本語表現の正しさおよび豊かさが失われている。たとえば、「医者が患者を見て看護師が患者を見る。」という表記にするならば、表現の正確性と豊穡性が損なわれてしまう。加えて、外国語への正確な翻訳過程に悪影響を及ぼす。同訓の語を意味的に区別するためには、漢字表記を充分活用することが必須となる。平仮名書きにより兵学が増えることになる。たとえば、「夫はうたがうまい。」と仮名表記すれば、「歌がうまい」のか「疑うまい」なのかは、文脈を充分汲み取らなければ決められない。漢字書き分けと平仮名運用との均衡を取りつつ日本語表記の豊穡性を創り出すことが肝要と思われる。

表1 和語動詞の漢字書き分け事例

語	和 語	漢字熟語
---	-----	------

あう	物どもが一つに重なる・つりあう	
合う	寄りつき一つになる つりあう	合致・一致 適合・調和・
会う	であう・よりあう・まみえる	会合・会見・再会
遭う	あることに会おう・巡会う	遭遇・遭逢・逢着・直面・当面・際会
	災難に出会おう	遭難・遭乱・受難
逢う	男女がであう	逢瀬

表2 和語動詞「みる」と対応英語動詞

和語	みる					
漢字	見る	観る	視る	看る	診る	覧る
英語	look	watch	view	care	diagnose	scan
和語	おもう					
漢字	思う	想う	憶う	懷う	念う	惟う
英語	feel	imagine	remember	yearn	pray	consider

▲は当用漢字表内の字ではあるが、その読みが音訓表にないことを示す[武部 1976][20][21]。英語は単語一例のみ記載

上述のように和語の漢字表記に制約があることから和語の多義を解決することがはなはだ難しくなる。そこで本稿では同訓和語の漢字書き分けを提案する。

ここで、和語動詞の漢字表記の機械翻訳への影響を観察する。その実験事例として深層学習を謳うニューラルネットワーク翻訳、これによる和文英訳の事例を紹介する。

翻訳事例 1 (2018/11/25)

借りた金で金を買った。

×I bought some money for the money I borrowed.

借りた金で金を購入した。

○I bought gold with the money I borrowed.

金を担保にして金を借りる。

×Borrow money with collateral.

金を担保にして借金する。

×Debts with money as collateral.

翻訳事例 2 (2018/02/05)

医者が患者をみて看護師が患者をみる。

The doctor looks at the patient and the nurse sees the patient.

α 和語の漢字表記

医者が患者を診て看護師が患者を看る。

The doctor examines the patient and the nurse observes the patient.

β 和語の漢語への言い換え

医者が患者を診断して看護師が患者を看護する。

The doctor diagnoses the patient and the nurse nurses the patient.

英訳評価

初回 その翻訳は「みる」の多義をまったく考慮していない。「見る」と誤解釈したと推測される。

α 「みる」の多義を、「診る」と「看る」へと表記分けした結果、英訳においても訳し分けが可能になった。しかし、もとの和語の意味に対応した翻訳にはなっていない。

β 「みる」の多義を、「診断する」と「看護する」へと言い換えた結果、英訳においても訳し分けが可能になり、かつ元の和語に意味に対応した翻訳になった。

翻訳事例 3 (1の後続節にあるヲ格を削除したもの 2018/02/05)

医者が患者をみて看護師がみる。

The doctor sees the patient and see the nurse.

α 和語の漢字表記

医者が患者を診て看護師が看る。

The doctor examines the patient and is seen by the nurse.

β 和語の漢語への言い換え

医者が患者を診断して看護師が看護する。

The doctor diagnoses the patient and nurses the nurse

英訳評価

初回 その翻訳は「みる」の多義をまったく考慮していない。「見る」と誤解釈したと推測される。等位節の後半においてヲ格補完をすることができていないことから、医者が看護師を見るという誤訳を生成。

α 「みる」の多義を、「診る」と「看る」へと表記分けしたが、英訳においては「看る」の訳し分けができなかった。しかも医者が看護婦に見られるという誤訳を生成した。

β 「みる」の多義を、「診断する」と「看護する」へと言い換えた結果、英訳においても訳し分けが可能になった。しかし、医者が看護師を看護するという誤訳を生成。原文における省略補完ができず、全くの誤訳を生成。事例1および2のような和文英訳については、ニューラルネット翻訳は学習ができていないようだ。

・複合動詞の言い換え

次には、和語複合動詞の漢語サ変への換言について検討する。前項では、一語の和語動詞を、漢字二文字のサ変動詞に換言する手法が有効であることを観た。ここでは、複合動詞についても同様の手法が有効かどうかを調べる。

運動会を執り行う → 運動会を実施する

翻訳事例 4 (20180128)

A1 明日は運動会を執り行う。

Tomorrow will take charge of athletic meet.

主体が明記されていないことから、受け身にして翻訳することはできなかった。かつ、「(明日)は」を副助詞として括むのも難しいと思われる。受け身にすれば、適訳が出た。

A1´明日は運動会が執り行われる。

The athletic meeting will be held tomorrow.

A2 明日は運動会を実施する。

I will carry out athletic meet tomorrow.

漢語サ変に書き換えると、正訳に近い結果を出せた。

5.2. 単文の換言

5.2.1 日本語の文型が表す普遍論理

いわゆる二重主格構文などの和文型の換言と英訳法、シテ形「VしてVする」や連体節などの複文の英語への翻訳法について述べる。

日本語の易しい表現は、英訳が難しい。和文型はコンパクトであるが意味的にはいくつかの意味範疇を表しているの、その範疇を再把握することで、英訳への手がかりをつかむ。日本語固有の簡潔な文構造について、B. L. ウォーフ 1993 は[22]下記のように気が付いていた。「日本語の美しいパターンの一つとして、文には資格を異にする主語があってもよいということがある。」「二つの主語一かりに主語1と主語2と呼んでおく—は *wa* と *ga* という不変化詞によって特徴づけられる。」「このパターンは高度の正確さと同時に高度の簡潔さをも可能にしている。」「このパターンを論理的に用いることを通じて日本語にはさまざまな概念を用いて簡潔な科学的操作をするのに大きな力が与えられることとなろう。」

なるほど、その通りであるが、いまひとつ日本語の文型について考えてみる。ここでは文型が表す普遍的論理について判断論(3.2. 言語における論理範疇)[23]の検討を加える。助詞の用法や構文的機能について論じるのではなく、判断の表現であるかぎりでの「XはYがZ」の文型が表す論理について論じる。普遍—特殊—個別という概念に基づく判断形式から、当該文型が、定有の判断、反照の判断、必然性の判断のいずれかであることを特定することができる。この判断形式の特定により、特定判断に対応する目標言語の表現形式を選択するという翻訳原理が成立する。ここでは必然性の判断について論じる。

・特殊に媒介された普遍—個別の必然性判断「A-B-E」
「この植物は葉が葉になる」というとき、「葉になる」という規定は、他の物についても葉になるといえるような一般的規定ではなく、「葉」という特殊性に媒介されており、「葉が」という媒辞が存在している。「葉が葉になる」という規定性が多くの中的一个として取り上げられているのではなく、植物の特殊的部分に、ある規定が存在するといっているのであって、特殊の属性について具体的判断を下している。単に個別的規定を無媒介に提出しているのではなく、特殊の属性という概念により主語の特殊の側面、ある特定の側面を浮かび上がらせ、それについての判断を下している。したがって、特殊性を媒介にして、すなわち媒語により主語と述語とが結びつくのである。反省判断に属する単称判断は、たとえば「この人は哲学者である」は、主語と述語とがいきなり繫辞「である」により結び付けられるが、このような無媒介的判断ではない。質的判断が特殊性を媒介に出される。主語と述語とが、媒語「葉が」により結び付けられるのである。特殊性と結びついた個別の規定を提出する。

「YのXはZ」「YであるXはZ」は、「XはYがZ」の換言態である。ここで、

X: 普遍性(類一般)

Y: 特殊性(普遍を特殊的に限定する)

Z: 個別的規定性

ここには、

If X has Y, X is Z. という推論への展開が内包されている)
主語は

(1) あるべき普遍性 X

(2) の性状 Y(Yとして限定されたX)

とを持つ。例えば、「緑黄色の野菜は滋味である」は、「野菜は緑黄色が滋味である」の換言態である。主語(YのX)において、特殊性(Y:性状)が普遍性(X:主語)と必然的に結合している(具体=普遍、「緑黄色=野菜」)がゆえに、主語と述語とが互いに結合し、結合して同一の内容をもつことになる。したがって、この判断内容は措定された具体的な普遍性である。すなわち、判断内容は、類と個別的なものとの必然的な統一である(繫辞による結合が必然となる $Y \rightarrow X \rightarrow Z$)。こうした必然判断は、真に客観的であり判断一般の真理である。

一方、定有判断である、「薔薇は色が赤い」という定言判断—肯定判断においては、「色が赤い」は「赤い」と同義であり、すなわち「赤い色」である。特殊という媒辞ではない。薔薇の有する多くの属性規定、その一つを取り上げたにすぎないバラ=赤という判断が何の媒介もなしに、出されている。判断が、何らの媒介も否定も含んでいない。「赤い薔薇」と要っているに過ぎない。

5.2.2 日本語固有の文型の英訳

簡潔な日本語表現は構文や品詞構成を変えることで、英訳への見通しがつくことがある。言い換えれば、SVOを中心とする英文の文法構成と共通する構文への、和文の換言が有効である。

α : 日本語表現の枠組みが、そのまま英語になる場合

β : 日本語表現の枠組みがそのまま英語にならない場合

α の場合(翻訳方程式が記述可能)

太郎は英語を学んでいます。「XはYを Z_{v_in} 」 \rightarrow 「 X_n be Z_{v_ing} Y_n 」

Taro is learning English.

太郎は数学が弱い。「XはYが Z_{adj} 」 \rightarrow 「 X be Z_{adj} prep Y_n 」

Taro is weak in math.

β の場合(特徴的な表現を列举する)

・主格対象格構文

1. 彼女は髪が長い has-a 関係: She has long hair.

2. 氷は摩擦が小さい is-a 関係: Friction of ice is small.

3. 私はこの本が面白い This book is interesting] to me.

4. 太郎は背が高い。 Taro is tall.

5. 太郎は歌がうまい。 Taroh sings well.

(Taroh is a good singer.)

6. 花子は猫が好き Hakako likes a cat.

7. 私は高いところが怖い I am scared of heights.

8. 明日は雨になるだろう。 It will rain tomorrow.

・和文コンパクト構文(XとYでZ)

酸素と水素で水ができる

男と女で夫婦になる。

・因果関係構文(技術文)

英語他動詞構文が直接の因果関係を表現する

1. タイマーの使用で、精度が上がる。 The use of timer increases accuracy.

2. 窒素で、反応は低下する。The presence of nitrogen reduces the reaction.

・肯定と否定との転換(あるいは消極的否定)

和文の否定的表現が英語前置詞(with/without, beyond)や副詞に該当する。

このように日本語表現の言い換え能力が英訳の前提であるといえる。豊穡な日本語表現を学習しつつ英訳の力を付けることができる。

以下には翻訳技法を取り纏める。他動詞構文・使役可能構文および態の転換は紙幅の都合で省く。対訳は鳥バンの例文を参考にした。なお、ここでの翻訳技法は暫定的なものである。日本語の換言については、D 複文・重文のところでのみ記述し全般的な記述は別稿に譲る・

A 品詞転換

a-1 複雑な品詞転換による翻訳

a-1-1 副詞(日)→動詞文型(英)

重い病気だというのに彼は[あ いかわらず]酒を飲んでいる	He [continues] drinking though he is being seriously ill.
繊維質の多い食事をとれば [確実に]排便が速まる。	A diet high in fiber [ensures] rapid elimination.
信望あるメトロポリタン美術館 の試みであるからそれは国内 における他の美術館に[かな らず]大きな刺激を与えること になるだろう。	With the prestige of the Metropolitan Museum behind it, the experiment [is bound to] be a great stimulus to the other museums of the country.

a-1-2 名詞(日)→副詞(英)、動詞(日)→形容詞(英)

あの子は[精神の安定を欠い ている]から[興奮しやすい]	Since that child is [mentally unstable], he is[easily excited.]
---------------------------------	---

a-2 自動詞(日)→他動詞(英)

ぼくたちは車を連ねて長崎へ ドライブした。	A bunch of us drove our cars together to Nagasaki.
--------------------------	---

a-3 他動詞(日)から、自動詞への翻訳(略)

a-4 単純な品詞転換による翻訳

a-4-1 副詞(日)→形容詞(英)

[あいかわりませず]お付き合 いをお願いします	I am looking forward to our [continued] friendship.
投資が[さらに]必要となる。*	An [additional] investment is required.

a-4-2 否定の副詞(日)→形容詞(英)

外国人と話をするチャンスは [ほとんど]ない	I have [few] chances to talk with foreigners.
---------------------------	--

B 否定／肯定変換

b-1 否定表現から、肯定表現への翻訳

b-1-1 全否定表現(日)→排他的な表現(英)

真の信仰があれば疑惑など [全く]起こらない]	True faith [excludes] [all] possibility of doubt.
[絶対誤解のない]ようにあら かじめ手を打った。	[All] possible misconceptions have [been precluded].

b-1-2 否定表現(日)→助動詞による断定表現(英)

わざわざ家の前で大声で話す とはいやがらせと[しか]思えな い]	They [must be] trying to harass us to talk in such a loud voice in front of our house of all places.
--	--

b-1-3 否定表現(日)→挫折的表現(英)

金は元来悪いものだという見 解は[理解]かねる。	I [fail to understand] the viewpoint that money is inherently evil.
-----------------------------	--

b-1-4 消極的表現(日)→積極的表現(英)に変換する

この新製品を使った場合の利 点は[数えきれない]	The advantages of using this new product are [beyond number].
息子がパソコンを買ってくれ とうるさくて[しょうがない]	My son [keeps bugging me] to buy him a personal computer.
この資格さえ取っておけば一 生食いゝはぐれる[ことはない]	If you've got this qualification, you [will be assured of] a living throughout your life.

b-1-5 否定表現(日)→限定表現(英)

事故の詳しい情報が[入らな かった]ので我々は疑心暗鬼 になった	With [only a piece or two of] information available about the accident, we were filled with fear and anxiety.
100名の求職者があつたがポ ストは10人分[しか]なかった]	There were one hundred applicants, but [only] ten positions were available.

b-1-6 違法逸脱的な行為表現(日)→常態表現(英)

彼は信号無視をして重い罰を 受けた	He was severely punished for running a red light.
----------------------	--

b-2 肯定表現(日)から、否定表現(英)への翻訳

外出から帰ると必ずうがいをする のが[習慣]になっている]	I [never fail to] gargle whenever I come home from somewhere.
彼の作文の授業からは全学生 が[確実に]得るもの]があつた。	All the students derived [undeniable gains] from his composition class.
トムに用事がある時は[いつも 手]がふさがっている]	Tom is [never available] when you want him.

単文

Ca 主格—対象格構文の英訳技法

和文型の意味範疇が異なれば、英文型も異なる

c-a-1 和文型「XはYがZ」

c-a-1-1 特定の実体をとりあげ(は格)、それが有する属性
について(が格)、話者の価値判断(述部)を提示する

代表的文型: N1はN2がAdj3

英語はbe 繫辞で判断を表現

ここにいる私の友人は泳ぎがうまい	My friend here is a good swimmer.
彼は人を扱うのがうまい	He is good at dealing with people.

c-a-1-2 特定の実体を取りあげ(は格)、それが有する動的属性／静的属性(が格)についての評価を表現する
 代表的文型: N1 は N2 が Adj3
 英語は動詞(+副詞)／have で属性を表現

太郎は駆け足が速い	Taro runs quickly.
福祉国家では人々は健康で寿命が長い	In a welfare state, the people are healthy and have a long life span.

c-a-1-3 組織・人を取りあげ(は格)、対象を指示して(が格)、行為を表現

代表的文型: N1 は N2 が V3 する

[生徒委員会[は]]制服は廃止すべしということで[意見[が]]まとまった	[The student council] [reached] [an agreement] that the school uniform should be done away with
--------------------------------------	---

c-a-1-4 組織・人を取りあげ(は格)、対象を指示して(が格)、その好き嫌いを表現

代表的文型: N1 は N2 が好きだ

学生の多くは教室の後ろの方に座るのが好きだ	Most students prefer to sit toward the back of the classroom.
-----------------------	---

c-a-1-5 対象を指示して(は格)、その属性の一つを特定して(が格)、好き嫌いを表現

代表的文型: N1 は N2 が Adj

お茶は熱いのが好きだ	I like my tea hot.
------------	--------------------

c-a-2 「X には Y が Z」

代表的文型: N1 は N2 が V3 する

代表的文例: 富士には月見草が似合う。

c-a-2-1 特定の実体を取りあげ(は格)、それが有する属性について(が格)、話者の価値判断(述部)を提示する

彼[には]人を見る目[が]ない	He is a poor judge of a man's character.
-----------------	--

c-a-2-2 主体[には] → 英文主語

が格 → 動詞目的語(補語)

わたし[には]長い間温めている計画[が]ある	I have a plan I've been nursing in my mind for a long time.
彼[には]恩義[が]あるので頭が上がりなかった 同じ「N2 がある」でも N2 の意味属性が異なる	I felt so indebted to him that I couldn't look him straight in the eye.
彼[には]余るほど金がある	He's got money to spare.
アインシュタイン[には]難しい事をやさしそうに見せる才能があった	Einstein had a gift for making the difficult seem simple.
あのボクサーのパンチ[には]すごい威力[が]ある	That boxer's punches are very powerful.

c-a-2-3 物[には] → 英文主語

が格→動詞受動態・There 構文補語・前置詞目的語

その船[には]美しいイルミネーションが施してあった	The ship was beautifully illuminated.
注射は通常医師または専門看	Injections will normally be given by

護婦が行うが、注射[には]は種々のタイプがあることを知る必要がある。	the doctor or professional nurse, but you should know that there are various types of injection.
Windows98[には]ピア・ツー・ピアネットワークを設定するソフトウェア[が]付いてくる。	Windows 98 comes with the software to set up a peer-to-peer network.

Cb. 副助詞一主格構文の英訳技法

c-b-1 「X は Y が Z」

時節・時期・時間をとりあげ(は格)、天候などについて(が格)の予測判断をする

代表的文型: N1 は N2 が V3 する

明日は霜が降りると思う。	I think we'll have some frost tomorrow.
--------------	---

c-b-2 「X は Y て Z」

時間・期日における(は格)、ある状況に関する(が格)、判断(述部)

きょうは忙しくて時間がない	I am so busy today I don't have much time.
---------------	--

c-b-3 「X には Y が Z」

場所[には] → 場所前置詞目的語・場所副詞

が格 → 主語・There 構文補語

その店[には]入れ替わり立ち替わり客[が]入って行った	Customers went into the shop one after another.
当地[には]昔老[が]山に捨てられたという伝説[が]伝わっております	There is a legend here that in the old days elderly women were abandoned in the mountains.
わたしのいなかの村[には]昔から言い伝えられてきた悲しい話[が]いくつもある	In my home village there are lots of sad tales that have been handed down from ancient times.
寝室[には]どろぼうが入った跡[が]あった	There was evidence in the bedroom that a burglar broke in.
二人の間には何か暗黙の了解があったにちがいない	There must have been some tacit understanding between the two.

場所が英文主語になっている特例

パーティー[には]あでやかに着飾った若い女性[が]大勢出席していた	The party was well attended with attractive girls in gorgeous dress.
-----------------------------------	--

c-b-3 (略)

の場合には／の際には／のときには

c-b-4 「X では Y が Z」(略)

C. 格助詞「で」(動作主体)一主格構文の英訳技法

c-c-1 「X と Y とで Z」

単数と複数で意味の(が)違う名詞が有る	Some nouns have different meanings in the singular and plural.
---------------------	--

男の子と女の子とでは大きな違いがある	There is a great difference between boys and girls.
仕事が好きというのと好きでやる仕事とでは大違いだ。	There is a big difference between a love of labor and a labor of love.

格助詞「で」(場所・時間・状況)一主格構文の英訳技法(略)

複文・重文・

D 構文変換と、それに伴う品詞転換

d-1 連体節を、動詞中心構造への変換による翻訳

d-1-1

原文	言い換え	英文
[連体修飾＋名詞]にする	[N]を、[adnominal]の状態にする	SVOC 文型
[[「愛と幸せに満ちた」家庭]にしたい]と思います	We hope we will [make our home full of love and happiness].	

d-1-2-a

原文	言い換え	英文
[連体修飾＋人]がいる	[person]が、[adnominal]の状態をする	SVOC 文型
[[相場で荒稼ぎをする]人]がいる	Some people [make a lot of money on stock speculations]	
[相場で荒稼ぎをする[人]]がいる →ある人たちが、荒稼ぎをする	Some people make a lot of money on stock speculations.	

d-1-2-b

わたしの学校の英語の先生の中には[[毎年東京で行われる夏の研究合宿に出席する]人]がいる	Some English teachers at my school [attend a yearly summer workshop in Tokyo].
--	--

d-2 連体節(日)→名詞句(英語)

[遠くで爆弾の炸裂する[音]]が聞こえた	[遠くでの爆発音]が聞こえた	We heard the bomb explosion in the distance.
----------------------	----------------	--

d-3 補節(日)→名詞句(英)

保守派は[現在確実に多数派である]と言っている。	The right-wingers now claim [a definite majority].
--------------------------	--

d-4

連用句(日)→形容詞＋名詞(英)

[1グラム増すごとに]10円ずつ増えます。	It is an extra ten yen for [each additional] gram.
-----------------------	--

d-5 連用節(副詞節)から、関係代名詞節への翻訳

日本語における単なる継起的つながりの連用表現は、英語では、因果関係としては認定されず、関係代名詞節で表現される

[花を生けたら]玄関が明るくなった	These flowers in the vase [I arranged] brightened the hall.
連用節を →私が活けた花が玄関を明るくした <「たら」条件節＋主節>の複文を、 →	関係代名詞節に変換 因果をあらわす他動詞による単文に変換

花が玄関を明るくするという点で因果関係を認定しているが、私が花を生けるてんいついては因果関係を認めていない。

連用節(依頼・希望)を 「助かる」という受け身表現を →お寄せいただければご意見が役に立つと分かるでしょう 「さらに」の副詞を →	関係代名詞節に変換 他動詞 prove の行為表現に変換 形容詞 additional に変換
[また、さらに何かご意見をお寄せいただければ]助かります。	[Any additional comments you may care to make] will also prove helpful.

生徒委員会は[制服は廃止すべしということで]意見がまとまった	The student council reached an agreement [that the school uniform should be done away with].
--------------------------------	--

d-6 シテ形接続(二つの動詞の接続)から、一つの動詞＋副詞類の構造への翻訳

にっこり笑って挨拶をする	シテ形接続→前置詞句 状態副詞＋動詞→形容詞＋名詞	greet with a big smile.
彼女は「にっこり笑って」ばくに「あいさつした」	She [greeted] me [with a big smile].	

5.3. 連体節の換言とその英訳

本稿筆者の提案に関わる換言法は、主節主部を修飾する連体節の表す意味が、1)付帯状況・原因理由・相反の場合は「連用節へ換言」、2)予備的背景的情報の場合には「シテ形接続へ換言」という手法である。上記1)の英訳は従属接続節が好ましいが、そのうちの付帯状況の一部と後者2)については、分詞構文が適切であるとの知見を得た。付帯状況には「状況的起因」が含まれており従属節相当の英訳が適切であることを本稿筆者は見出した。

南 1993, 1993 は従属節をA・B・C・Dの四つに分類し、連体節に現れる従属句について、「ABのものは連体修飾の一部となることが可能である。CDのものは原則として連体修飾語の一部となることが出来ない。」[24][25]と指摘した。日本語の階層的認識構造とは、言語過程説の立場から視ると、入子型構造形式の拡張である。時枝文法においては、詞辞の入子型構造形式によって文の基本構造を捉えている。すなわち、「辞が詞を総括する」構造が、さらに大きな詞辞の構造に「順次総括せられ、最後に統一した思想表現を構成する」ことで文が成立するとの見解である。これを三重の盃に喩えて、小円a・中円b・大円cという同心円の図を呈示しつつ「大盃cは、中盃bをその上に載せ、中盃bは更に小盃aをその上に載せて、そして全体として三段組の盃を構成している」[26]と時枝は言っている。この入子型に「啓発された」林四郎が提案したのが「描述を、言語の最奥の中核とし、判断、表出、伝達を、次第に大きく取り囲む働きと見る」という階層的な構造である[27]。この林説を支持しつつ南不二男は、「各種の従属句(いわゆる接続助詞で終わっている句、または活用語の連用形で終わっている句など)の構造の違い——主として、それぞれの句内の述語的部分の構成要素と、述語的部分以外の諸成分との共起関係の違い——に基づいて、文の構造全体について四つの段階」[28]という仮説を提案した。

この南の分類観点を踏まえて連体節の連用節への以下に示す換言法について検討を進める。

- ①付帯状況の関係を含意するとき、A類(「…ながら」「…つつ」等)の連用節／シテ節に換言
- ②時点、原因・理由、条件、相反の関係を含意するとき、

B類(「ので」「たら」等)の連用節／シテ節に換言

③相反、原因・理由の関係を含意するとき、C類(「けれど」「から」等)の連用節／シテ節に換言。

A類

主節に対して連体節が、付帯状態の関係を含意するとき、A類(「…ながら」「…つつ」等)の連用節／シテ節に換言する。

・状況的継起(ことの成り行き)

春休みで学生がいなくなった構内は静かだった。
→春休みで学生がいなくなって構内は静かだった。

Silence reigned on campus **with** all students away for Summer Break. 試訳

「休みで学生がいなくなった」という「予備的、背景的情報」(益岡 1997 [29])の類であり、直接的な関係が連体節—主節の間にあるわけではないが、状況変化とその帰結ということの成り行きは認められることから、「学生がいなくなって」と言い換えができる。状況的継起(因果関係ではないもの)と名付けよう。「休みで学生がいなくなったから／ので、…」とも言い換えることもできるが、因果性の認識がある表現になる。因果性の認識というよりも背景的情報を、この文が呈示していると視れば、英訳文型として付帯状況の with 構文が適切であろう。

B類

主節に対して連体節が、b1) 継起、b2) 「原因・理由、条件」を含意するとき、B類(b2: 「…ので」「…たら」等)の連用節／b1: シテ節に換言する。

連体節の内容が何かを判断している場合、B類(「…ので」「…たら」等)の連用節／シテ節に換言する。主節の事柄を説明していると考えられる。「B類は判断段階」とする南の指摘を引用しておく[25]。

5.22 判断段階に属すると考えられるものは、一般に名詞になんらかの連体修飾句がついたもので、先に述語句の構造について認めた判断段階の範囲の情報を含むと考えられるものである。

状況的起因(弱い因果性)

ことの成り行きよりは因果的関連が強い状況を表す連体節、その意味範疇を**状況的起因**という。例文を挙げる。

信用金庫のいちばんタフな部署で働いてきた片桐には、そういうものを感じ取る能力が、いわば第二の天性として備わっていた。 村上春樹 [30]

After years of work in the toughest division of the Security Bank, Katagiri possessed the ability to sense such things, It was all but second nature to him.

Rubin, J.(trans.) Super-Frog Saves Tokyo [30]

「信用金庫のいちばんタフな部署で働いてきたので、片桐には、」に換言できる。状況的起因は日本語では「ので」やシテ形接続で表されるが、この英訳文で

は時間の前置詞 after の句(副詞的用法)によって表されている。ことの成り行きよりは因果的関連が強いと考えられる。

C類

相反、原因・理由の関係を含意するとき、C類(「…けれど」「…から」等)の連用節／シテ節に換言する。

換言事例を示す((意志形／推量形))

決して故障しないはずの車が故障した。

→決して故障しないはずなのに、その車が故障した。

・相反」の連体節

連体節—主節述部が相反を表す場合、連体節には、前触れの副詞が現れる傾向を観察することができる。「今まで」「いつもは」「それまで」など習慣的事態あるいは現状認知を表す副詞や、「あんなに」「あれほど」など程度副詞、「かつては」などの新旧比較の副詞、「一旦」「一度」など事態が完了していることを表す副詞が文頭に位置する事例が観察されている。「今までそうだったのに」「あんなにこうだったが」の連用的に主節述部に関係している。連体節内の前触れ副詞に係る連用節内述部と主節述部とが反意の関係にあるとき、連体節—主節述部が相反を表す。言い換えれば、連体節冒頭の前触れの副詞が相反関係を示唆する。これらを「前ぶれ」の副詞と呼ぶこととするが、この用語は時枝文法の入子型構造を念頭に文の階層構造を明らかにした林四郎[1983: 43-62]に基づく。このような相反の連体節を備える和文が、その英訳では、逆接の従属節とされる事例を示す。

一旦堅く括られた私の行李は、いつの間にか解かれてしまった。 漱石「こゝろ」

The trunk, once so carefully packed, was now lying open on the floor. McClellan, E. (Trans.) [31] [32]

「一旦堅く括られたのだが」という相反の節に換言可能である。英語は once という接続詞節を挿入する形をとっている。

換言事例とその英訳詳細については[1]を参看されたい。

5.4. 従属接続詞節の連体節への和訳(抄)

ここでは、英語従属説の和訳に際して連用節への翻訳に換えて連体節の翻訳技法の検討を進める。英文が as, while, when などで付帯状況を表すとき、和訳は連体節が適切であることを見出した。たとえば[3]、when などの時間節を、主格を修飾する連体節への翻訳例を下に示す。

I found him there when I was sent to fetch him for dinner, smiling slightly, just this head showing, his face turned up to the spring rain. Canin, E. 1991. Blue River [33]

晩御飯に呼びにいかされた僕は、そんな姿の兄を見つけた一かすかに笑みを浮かべた、頭だけ出して、顔を春の雨に向けて上げている兄を。 柴田元幸[33]

When her face relaxed, she was lovely in a sort of different

way

顔から緊張のほぐれた女はさつきとはまた別の意味で愛らしかった。 英和翻訳辞典 中村保男編

All seducers and reformers are responsible: Lady Bessborough when she lied to Lord Granville; Miss Davies when she told the truth to Mr. Greg. Woolf, V. 1929

責任は、あらゆる誘惑者、あらゆる改革家にあるのだ。心にもないことをグランヴィル卿に言ったベズブラー夫人のごときも、グレッグ氏に真実を吐露したデイヴィス女史のごときも、そうである。 訳: 西川正身・安藤一郎 1952

6. 謝辞

本稿は、日本学術振興会の科学研究費助成事業(学研究助成基金助成金)「基盤研究(C)」(課題番号 17K02987、平成 29 年度～31 年度)「高度翻訳知識に基づく高品質言語サービスの研究」における成果の一部である。

山岡翻訳訳語辞典について学術目的での編纂を許諾していただいた山岡祐介氏、本辞典 Web 管理者の武舎広幸氏に多謝申し上げます。

日本語の換言に関する知見をご教授していただいた宮崎正弘先生(新潟大学名誉教授)に感謝いたします。翻訳手法に関する知見を教授していただいた岩垣守彦先生(新潟大学名誉教授)に感謝いたします。日本語慣用句および MWE に関する知見と資料とをご教授いただいた首藤先生(福岡大学名誉教授)に感謝いたします。

文 献

- [1] 佐良木昌「時枝古典解釈文法から翻訳過程論への示唆」『言語過程説の探求 第三巻 自然言語処理への展開』明石書店 2017
- [2] 池原悟, 佐良木昌, 宮崎正弘, 池田尚志, 新田義彦, 白井諭, 柴田勝征(2002). “等価的類 推思考の原理による機械翻訳方式.” 電子情報通信学会術研究報告, 思考と言語研究会. TL2002-34, pp.7-12.
- [3] 池原悟『非線形モデルによる自然言語処理』岩波書店 2009
- [4] 新田義彦『機械翻訳の原理と活用法』明石書店 2012
- [5] 日本語表現意味辞書－重文複文編－
<http://unicorn.ike.tottori-u.ac.jp/toribank/>
- [6] 翻訳通信 <http://www.honyaku-tsushin.net/>
- [7] 春田 勝久 (監修)『学生のための英単語・文法ノート－英語のプロムナード－』明石書店 2010
- [8] 春田コーパス (語彙篇・用法篇・文型篇)
http://alr.la.coocan.jp/haruta_corpus.html
- [9] 日本語処理工房 <http://jefi.info/>
- [10] 首藤公昭, 田辺利文 2010 日本語の複単語表現辞書: JDMWE. 首藤公昭, 田辺利文. 自然言語処理. Vol.17.No.5. pp.51-74.
- [11] 池原悟, 佐良木昌ら「機械翻訳のための日英文型パターン記述言語」電子情報通信学会技術研究報告. TL, 思考と言語 102(688), 1-6, 200
- [12] 新田義彦「文型パターン記述言語の検討」経済集志 72(3), 505-529
- [13] 池原悟ら「非線形な表現構造に着目した重文と複文の日英文型パターン化」自然言語処理 69-95, 2004
- [14] G. F. W. ヘーゲル『大論理学』序論, ヘーゲル全集 6a 武市建人訳, 岩波書店, 8, 1956
- [15] 有田潤『ドイツ語講座Ⅱ』南江堂 54-56, 1987
- [16] ルリヤ『認識の史的発展』森岡修一訳 1974
- [17] 佐良木昌「時枝古典解釈文法から翻訳過程論への示唆」『言語過程説の探求 第三巻 自然言語処理への展開』明石書店 2017
- [18] 池原悟, 宮崎政弘, 白井諭ら編著, 『日本語語彙大系』, 5 構文体系, 岩波書店, 東京, 1997.
- [19] 鈴木順子, “異字同訓の書き分け, 『講座日本語と日本語教育』, 第9巻日本語の文字・表記(下), pp. 109-139, 明治書院, 東京, 1989.
- [20] 武部良明, 『漢字の用法』, p. 366 下, 角川書店, 東京, 1976.
- [21] 武部良明, 「読みやすさから見た表記史」, 『講座日本語学』, 6 現代表記との史的対照, 明治書院, 186-207, 1982.
- [22] B. L. ウォーフ『言語・思考・現実』講談社 224-226, 1993.
- [23] G. F. W. ヘーゲル『大論理学 下巻』「判断」, ヘーゲル全集 8, 武市建人訳, 岩波書店, 71-127, 1961
- [24] 南不二男『現代日本語文法の構造』大修館書店 78-86, 1974
- [25] 南不二男『現代日本語文法の輪郭』V 名詞句の構造と種類「判断段階の名詞句」大修館書店 1993
- [26] 時枝誠記述『国語学原論』岩波書店, 317, 1941)
- [27] 林四郎『基本文型の研究』明治書院 1960, 復刊 2013 ひつじ書房, 95, 2013
- [28] 南不二男「現代語の文法」『国文法講座6』時代と文法－現代語, 5, 明治書院, 1987
- [29] 益岡隆志『複文』くろしお出版, 167-180, 1997
- [30] 村上春樹, NHK 出版編『かえるくん、東京を救う英訳完全読解』120-121, NHK 出版, 2014
- [31] McClellan, E. “KOKORO”, Dover Publications Inc., 2006
- [32] 前田尚作『日英語学研究: 漱石著『こゝろ』の英訳に学ぶ』山口書店, 1996 から重引
- [33] 柴田元幸『英米小説演習』研究社 12-13, 1998

参考表① 山岡翻訳語辞典における英単語インデックス

見出し語 (英)	単語	英訳フレーズ	句	英訳文	原文	出典
steal				Stolen clothes ill fit the thief, I thought, and decided to leave it behind rather than try to keep it on. I hung it over the gargoyle-like end tile decorating the ridge of a house that had collapsed.	やっぱり盗品は身につかぬな。被るより捨てて行ってやることにして、誰かが被るだろうと、押しつぶされた家の鬼瓦に被せた。	井伏鱒二著ベスター訳『黒い雨』新潮文庫 49 ページ
clothes	Idiom	stolen clothes ill fit the thief	盗品は身につかぬ			
ill						
fit						
thief						
leave		leave sth behind	捨てて行く			
behind						

参考表② 品詞別英日辞典(前置詞)

見出し語	英語フレーズ	日本語句	英文	和訳文	出典
around	around the walls	壁に沿って	Crates of wine were stacked on wooden pallets around the walls, and an old refrigerator hummed quietly next to a cracked sink.	壁に沿って木製の運搬台にワインの箱がうずたかく積みれ、ひび割れた流しの脇で古い冷蔵庫が微かな唸りを発していた。	メイル著池央耿訳『南仏プロヴァンスの12 か月』
around	hop around room	部屋のなかをびよこびよこ跳ねまわる	Ted hops around room w/ needle in leg	テッド、注射針を脚に突き刺されて部屋のなかをびよこびよこ跳ねまわる。	タランティーノ著芝山幹郎訳『フォー・ルームス』
around	around the Dryad's Bubble	妖精の泉のほとり	The maples in Lover's Lane were red-budded and little curly ferns pushed up around the Dryad's Bubble.	「恋人の小径」の楓は赤いつぼみをもち、「妖精(ドライアド)の泉」のほとりには、くるくると葉のさがちぢれた小さなしだが勢いよくはえてきた。	モンゴメリ著村岡花子訳『赤毛のアン』
around	we all pass sth around ... and look at it	みんなで?のまわりにすわって回し読みする	I brought it to my folk's home and we all passed it around the dinner table and looked at it.	で、帰省のとき、それをうちへもって帰って、みんなで食卓のまわりにすわって回し読みしたのよ。	トゥロー著上田公子訳『有罪答弁』
around	around the base of the tree	幹の根本近く	When the sun is shining on the roots of a likely-looking oak, approach cautiously and, with your stick, prod gently around the base of the tree.	見込みのありそうなカシの根方に日の当たっているところを狙ってそっと近づき、棒切れの先で幹の根本近くを軽く叩く。	メイル著池央耿訳『南仏プロヴァンスの12 か月』

around	look around	あたりを見まわす	Toshio Onodera looked around with a grimace of distaste as he wiped the sweat from his chin with the back of his hand.	小野寺俊夫は、顎のところにしたたる汗を手の甲でぬぐいながら、口をゆがめてあたりを見まわした。	小松左京著ギャラガー訳『日本沈没』
around	hear sb banging around	(人が)あちこち開け閉めする音が聞こえる	I heard her banging around in a cabinet and swearing.	キッチンから、グランドラがあちこち開け閉めする音と悪態をつく声が聞こえた。	トゥロー著上田公子訳『有罪答弁』

参考表③ 品詞別日英辞典(形容詞)

見出し語	日本語語句	英語フレーズ	日本語文	英訳	出典
鋭い	…しかねない	be in danger of doing	最後にいまま一つ極限的な場合について説明しておきたい。それは建前と本音が鋭く対立し、そのため人間が引き裂かれしかねない場合である。	Here, I would like to consider on final case, an extreme case in which tatemae and honne are in such violent conflict that the individual is in danger of being torn apart.	土居健郎著ハービンソン『表と裏』
鋭い	今さらながら…を思わずにはいられない	once more one feel ...	本多は今さらながら、清頭が彼の若い日へ残していったあの鋭い羽搏きを思わずにはいられなかった。	Once more Honda felt racing through him the keen excitement that Kiyooki had brought to his youth.	三島由紀夫著ギャラガー『奔馬』
鋭い	鋭い	be so perceptive	鋭い かつよ	And he's so perceptive.	遠藤周作著ゲッセル『スキャンダル』
鋭い	その方面には嗅覚が鋭い	usually learn about these love affairs very quickly	ああいうところの女は、その方面には嗅覚が鋭いのだからね。全然、気がつかなかったそうだ。	Waitresses usually learn about these love affairs very quickly, but in this case they didn't even suspect them.	松本清張著ブルム『点と線』
鋭い	時おり鋭いうなりをあげて風のかたまりが突っ走っていく	the wind occasionally gusts past with a piercing groan	窓の外を時おり鋭いうなりをあげて風のかたまりが突っ走っていくのだが、部屋の中にその風はあまり入りこんでこない。今日の風は海に向かって吹いていくらしい、ということがわかった。	Outside our window the wind occasionally gusted past with a piercing groan, but since it rarely entered our room, I knew it was blowing toward the ocean that day.	椎名誠著ジョット『岳物語』
鋭い	(人の) 背中をおこす	help prop sb up	鋭い 痛みが側頭部を走り、まわりにいた仲間たちが私の背中をおこしながら「わあたいへんだあ！」と大きな声で言った。	A sharp pain shot through my head, and when my friends helped prop me up, they suddenly started yelling something about an "emergency!"	椎名誠著ジョット『岳物語』
鋭い	「ぼわんぼわん！」と警笛のラッパをたからかに鋭く鳴らす	blast sb with a mighty BLAM-BLEM of one's horn	そして人ごみの中に左右から割り込んでくるほかのリクシャがあると、その少年は「ぼわんぼわん！」と警笛のらっぱをたからかに鋭く慣らした。	And whenever another rickshaw came from the left or right through the crowd he blasted them with a mighty BLAM-BLEM of his horn.	椎名誠著ジョット『岳物語』
鋭い	…にも似た風貌だ	have the sort of face one imagines ...	灰色の眼光は鋭い。老いてはいいるが、野武士にも似た風貌である。	He had glittering gray eyes, and despite his age there was something stern, almost heroic, about him. He had the sort of face one imagined a wandering samurai might have.	北杜夫著キーン『楡家の人びと』
鋭い	…を鋭く睨む	glare at ...	勲は鋭く訊問者を睨んで叫んだ。	Isao glared at his cross-examiner and shouted:	三島由紀夫著ギャラガー『奔馬』
鋭い	ところどころじつに鋭い感覚がある	show the occasional sharp insight	ところどころじつに鋭い感覚があつて、詩人や小説家の本としては上出来のものだった。	Still, if one ignores such failings, his work did show the occasional sharp insight, and, so far as such productions by novelists, poets, and their ilk go, it wasn't bad at all.	丸谷才一著キーン『横しぐれ』
鋭い	…すれば論外である	would not recommend doing ...	ただウツボとはびぬけて鋭い歯をしているから、そのひそんでいる洞穴に手を入れたりすれば論外である。	The moray does, however, have incredibly sharp teeth, and I wouldn't recommend reaching into a hole where one is hiding.	北杜夫著マッカーシー『どくろマンボウ航海記』
鋭い	臆たけている	be graceful	そして花は、遠見にはいかに臆たけて美しく思われるのに、近寄ってみると…強靱さ	Their white flowers, so graceful and lovely from a distance, revealed strong, sharp-edged petals up close.	有吉佐和子著コスタント『華岡青洲の妻』

			を、花卉ごとに屹出している 鋭い 角で示していた。		
鋭い	まことに鋭い洞察を含んでいる	be brilliant observations	以上がベローの講演の骨子であるが、これは今日の時代精神についてまことに 鋭い 洞察を含んでいる。	Bellow's arguments concerning the modern novel are also brilliant observations of the modern spirit.	土居健郎著ハービソン『表と裏』
鋭い	どこか(人を)思わせる	not unlike sb	色の浅黒い輪郭の 鋭い 顔をしていて、どこか魔術師の叔父を思わせた。	He had rather dark, sharp features, not unlike my magician uncle's.	北杜夫著キーン『幽霊』
鋭い	…が全身を埋める	be completely covered with ...	みどりさんのは南方産の小さいセピア色の蛇で、私のと仰言ったのは、これも小さいが真白い斑点が全身を埋め、頭だけが錐のように 鋭く 尖っている濠州産の蛇でした。	Midori-san's snake was a little sepia-colored one from southern Asia, and the one you said was mine was small, from Australia, completely covered with white dots, its head sharp as a drill.	井上靖著横尾・ゴールドスタイン『猟銃』
鋭い	(人のおぼつかない手元を見る	watch sb fumbling	岳は私のおぼつかない手元を見ながら 鋭い 声で言った。	Gaku said in a sharp voice as he watched me fumbling.	椎名誠著ショット『岳物語』
鋭い	また別の新しい孤独感	awareness of one's own solitude	それはいつかこの土地にきたばかりのとき、王ヶ鼻の山頂で覚えたよりも、ずっと 鋭く 、そのくせどこか乾いて落着いた孤独感、いままで味わったのとはまた別の新しい孤独感であった。	It was like the sense of awakening I'd experienced on that mountain when I first came to these parts, but this was more intense, a much drier sensation, a settled, hard awareness of my own solitude.	北杜夫著キーン『幽霊』
鋭い	夏の最後の残照	the final heat of summer	夏の最後の残照が無慙に融かしてゆく氷の遠い 鋭い 呻きがきこえてくるように思われた。	He felt as if he could hear distant, shrill cries of pain as it was being ruthlessly dissolved by the final heat of summer.	三島由紀夫著ギャラガー『奔馬』
鋭い	泡沫	swirling froth	鋭く 、ただけしいもう1人の若者の顔が、その消えかかる美の泡沫の中から飛び上ってきた。	The truculent face of another young man rose sharply into view amidst the swirling froth of vanishing beauty.	三島由紀夫著ギャラガー『奔馬』

英日フレーズ対応辞典(和訳フレーズに「鋭い」を含む)

英語フレーズ	和訳フレーズ	英語例文	日本語例文	出典
sb's sharp intake of breath	(人が) 鋭く 息をのむこと	'About what, precisely?' Charlie hadn't intended the question to sound insolent but it did and he was aware of Harkness's sharp intake of breath.	「なんの話です、はっきりいって？」チャーリーは馬鹿にしたつもりはなかったのだが、そんな響きをあたえたとみえて、ハークネスが鋭く息をのむのが聞えた。	フリーマントル著稲葉明雄訳『狙撃』
have one's ear to the ground and know that ...	(人の) 鋭い 聴覚がとらえたところによると、…だという	Daz has his ear to the ground and knows that you have the same Armenian carpets being "stolen" five, six, seven times all over the west, so he has a sense that the Armenians might be receptive to an insurance scam.	ダズの鋭い聴覚がとらえたところによると、西部のあちこちで五回も六回も七回も盗まれたアルメニア製絨毯が何枚もあるという。それなら、保険金詐欺で手を組むのに、アルメニア人は願ってもない相棒ではないか。	ウィンズロウ著東江一紀訳『カリフォルニアの炎』
sb's voice was sharp and clipped	(人の)声が、ぴしりと 鋭さ をおびた	His voice was sharp and clipped.	いいかえすレバノン人の声が、ぴしりと鋭さをおびた。	イグネイシアス著村上博基訳『無邪気の報酬』
give full credit to sb's subtlety	(人のことを)感受性が 鋭い と思う	He was so full of himself that one seldom gave full credit to Dixon's subtlety.	いつも自信満々なので、彼のことを感受性が鋭いと思う人はめったにいない。	トゥロー著上田公子訳『立証責任』
transfix sb with a glare	(人を)眼光 鋭く にらみつける	'No, sir' James transfixed him with a glare.	「それはいかん」ジェームズは眼光鋭く彼をにらみつけた。	アーチャー著永井淳訳『100万ドルを取り返せ』

put a fine point on sth	・・・を鋭く削る	Our favorite driver, No. 6, had his pocket knife out, and was putting a fine point on each end of his stick, which I took to be a good sign.	私たちが賭けた六番の騎手はポケットナイフを取り出して棒の両端を鋭く削っていた。これは幸先がいい、と私は思った。	メイル著池央耿訳『南仏プロヴァンスの12か月』
run a ferocious eye over ...	・・・を眼光鋭くずいとながめやる	Craw ran a ferocious eye over the rows of child faces longing to be stern.	クロウは厳しさをつくるおうとしている童顔の列を、眼光鋭くずいとながめやった。	ル・カレ著村上博基訳『スクールボーイ閣下』
be endeavouring to pierce the darkness with one's ferret eyes	いたちのような鋭い眼で、闇を突きとおして何かを見きわめようとしている	He was endeavouring to pierce the darkness with his ferret eyes, when the chimes of a neighbouring church struck the four quarters.	彼はいたちのような鋭い眼で、闇を突きとおして何かを見きわめようとしていると、近くの教会の鐘が十五分の鐘を四度打った。	ディケンズ著村岡花子訳『クリスマス・カロール』
line a ball sharply to right field	ライトへ鋭いライナーを放つ	Zarilla lined a ball sharply to right field, a clean hit for a guaranteed tie score.	ザリーラがライトへ鋭いライナーを放った。「クリーンヒット、同点は確実だ」とドウアーは思った。	ハルバースタム著常盤新平訳『男たちの大リーグ』

参考表④ 日英フレーズ対応辞典

句	英訳フレーズ	原文	英訳文	出典
捨てて行く	leave sth behind	「やっぱり盗品は身につかぬな」被るより捨てて行ってやることにして、誰かが被るだろうと、押しつぶされた家の鬼瓦に被せた。	Stolen clothes ill fit the thief, I thought, and decided to leave it behind rather than try to keep it on. I hung it over the gargoyle-like end tile decorating the ridge of a house that had collapsed.	井伏鱒二著ベスター訳『黒い雨』新潮文庫 49 ページ
盗品は身につかぬ	stolen clothes ill fit the thief			

参考表⑤

(A) 文末様相と法助動詞との対応

日本語例文	英語例文	出典
あるいはそれは下降していたのかもしれないし、あるいはそれは何もしていなかったのかもしれない。	It could have been going down for all I knew, or <u>maybe</u> it wasn't moving at all.	村上春樹・バーンバウム『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』
狂ったところがあるのかもしれない	He must be half crazy.	遠藤周作・ゲッセル『スキャンダル』
なんでもないただの羊で骨折り損ということになるかもしれないよ。	But why should I go breaking my back over this one lousy sheep?	村上春樹・バーンバウム『羊をめぐる冒険』
真一が兄に話さなくとも、店が近いから、それとなく、伝わっていると、思っているかもしれない。	Even if Shin'ichi had not mentioned it to him, he might well have heard the rumor since their shops were close together.	川端康成・ホールマン『古都』
たとえ機械の注文が殺人であっても、泣き泣き人殺しをやってしまうかもしれない。	If the machine ordered murder, I would doubtless commit murder, however reluctantly.	安部公房著ノーンダース『第四間氷期』
実際の距離はその何倍もある海辺の町から、ほとんど乗りかえなしで知子の部屋へ通っていた慎吾にとって、新しい知子の家は複雑迂遠な距離感をもっていたのかもしれない。	The actual distance from Shingo's house by the sea to her former place had been several times greater, but Shingo had been able to make the journey with only one transfer. In contrast, the trip to Tomoko's new place might seem complex and circuitous to hi	瀬戸内晴美・バイチマン『夏の終り』
そちらから押していけば、あんがい、モスクワ 2 号の結論とはまるでちがった結論が出てくるのかもしれない	If we carry it off, we might be surprised by a completely different conclusion from that of Moscow II.	安部公房・ゾーンダース『第四間氷期』
やっぱり堀木にさえ軽蔑せられて至当なのかもしれない、	and that, for all I knew, contempt, even from Horiki, might be entirely merited.	太宰治・ギーン『人間失格』

これに対し、一体どうして秘密にすることがそんなに大事なのか、それでは秘密主義ではないかといふかる向きがあるかもしれない。	Some may find this suspicious, wondering why on earth it is so important to keep these things secret. Some may even be annoyed, feeling that it smacks of arcane mysticism--of privileging secrets for their own sake.	土居健郎・ハービソン『表と裏』
うちがうまくなかったことをお兄ちゃんはおぼえていたかもしれないが、お姉ちゃんは多分わかる歳じゃなかったんじゃないかな。	Your brother might have realized that something strange was going on, but I don't think your sister was old enough to understand what was happening.	吉本ばなな・シェリフ『とかげ』
いや、オモテを見るのはもっぱらそこにウラを見るためだという方が当たっているかもしれない。	In fact, it may well be closer to the truth to say that they are looking at omote solely in order to see ura.	土居健郎・ハービソン『表と裏』
もしかすると、あなたの会社やお兄さんにも迷惑がかかるかもしれないし。	It'd be a huge embarrassment for your brother.	吉本ばなな・シェリフ『とかげ』
あいつにも、いい薬かもしれない	Could be just what he needs, though.	宮部みゆき・バーンバウム『火車』
もっと訓練すれば、僕は右手で(a)的な人生を操り、左手で(b)的な人生を操ることができるようになるかもしれない。	With a little practice, I'm sure I'd be able to conduct, (a), a life with my right hand and, (b), a life with my left.	村上春樹・バーンバウム『羊をめぐる冒険』
もしかして、昔の人はこれを希望と呼んだのかもしれない、とぼんやり思った。	I wondered if that was what people in the old days used to call hope.	吉本ばなな・シェリフ『とかげ』

(B) 文末様相と be 繫辞との対応

日本語例文	英語例文	出典
化粧をしているのかもしれないが、浜の女にしては、珍しく色白だった。	Perhaps she was wearing powder; for someone who lived by the sea, she was amazingly white.	安部公房・サンダース『砂の女』
ただ、言葉で無理やり処理すればかういふことになるかもしれない、気持ちを味ひながら、	But if you have to force it into words, then it was something along those lines.	丸谷オ一・キーン『横ぐれ』
ぼくはどうもああいうところ無器用なのかもしれないし、意地っ張りなのかもしれませんね。	Either I'm just awkward in social situations of that kind, or maybe it's pride that prevents me saying the right thing.	丸谷オ一・キーン『横ぐれ』
このように見て来ると、愛が秘密なのは告白するまでのことで、告白してしまえば、また告白を要しない間柄では、秘密でもなんでもないと考えられるかもしれない。	Seen in this light, it is possible to conclude that love is a secret only until it is confessed that once it is confessed, or in a relationship in which it need not be confessed, love is not a secret at all.	土居健郎・ハービソン『表と裏』
それは別の形でいえば生の欲求というより永遠の眠りや死の欲望とも言えるのかもしれない。	To describe it another way, it was not so much a yearning for life as a desire for death, for eternal rest.	遠藤周作・ゲッセル『スキャンダル』

(C) 文末様相と法助動詞なしとの対応

日本語例文	英語例文	出典
そのどこかの席に、ひょっとすると成瀬夫人が来ているかもしれない。	Perhaps by chance Madame Naruse was in one of those seats.	遠藤周作・ゲッセル『スキャンダル』
日本人がこれを読んですぐぴんと来るのは、誰も建前と本音の二本立てに苦勞するからなのかもしれない	Japanese respond immediately to this passage, perhaps because every Japanese has experienced difficulty with the dual structure of tatemae and honne.	土居健郎・ハービソン『表と裏』
長いあいだ走ったことなどないのだが、学生時代の訓練がものをいったかもしれない。	I had not run for a long time, but my school training stood me in good stead apparently .	安部公房・ソーナダーズ『第四間氷期』
もっとも私がやみくろのことを知らないのは私が下級の現場独立職だからなのであって、上の方の連中はそんなことはとっくの昔に承知しているのかもしれない。	Of course, to a lower-echelon field independent like myself, not knowing about INKlings was only par for the course, whereas the Brass at the top were probably aware of them ages ago.	村上春樹・バーンバウム『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』
畏の正体の発見に、全力をあげなければならないというのは、一応そのとおりかもしれない。	I agree for the present that we've got to devote all our efforts to finding out just what this trap is.	安部公房・ソーナダーズ『第四間氷期』

<p>どうでもよかったし、そういう特別な対応をむき出しにする人々にかすかな嫌悪感があったかもしれない</p>	<p>I didn't have a problem with the guy anyway, and even felt a trace of contempt for the other passengers, who had been so obvious about avoiding him.</p>	<p>吉本ばなな・シェリフ『とかげ』</p>
<p>従つてわたしは、亡父と山頭火が会つてゐるかもしれないというふ話を誰にもしなかつた。そんな話をしたとて、興味を惹くはずがないからである。</p>	<p>For this reason I talked to nobody about the possibility of Kurokawa and my father having met Santoka, because nobody I knew would have shown the slightest interest.</p>	<p>丸谷才一・キーン『横しぐれ』</p>